Panasonic®

AreaLux

取扱説明書

保管用

# ひとセンサ タウンペット防犯灯（屋外用）

| 品番 | 同梱ランプ | 取付部品品番 | 取付場所 |
|---|---|---|---|
| YFG41345PX9（自動点滅器なし） | 42形 コンパクト形蛍光灯 FHT1灯（3波長形昼白色） | YKG23050 | 鋼管柱・電力柱用 |
| YFG41346PX1（自動点滅器内蔵型） | | YKG23051 | 壁面用 |

適合オプション

| オプション品番 | オプション品名 |
|---|---|
| YK22815 | 電力柱取付バンド |
| YK22821 | |
| YK23097 | 鋼管取付バンド |

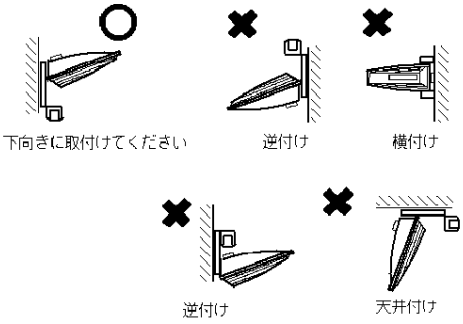
器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明**　**工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。**

## 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

●施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
●器具を改造しない。落下・感電・発火の原因となります。
●振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、浴室などの湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、沿岸隣接地域では使用しない。
落下・感電・発火の原因となります。
●器具の逆付け、横付け、天井付けは行わない。
落下・感電・発火の原因となります。
●口出し線との接続は、スリーブ等により確実に行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。
接続に不備があると感電の原因となります。
●接地工事（D種設置工事）を確実に行う。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
●器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、ランプの破損・火災の原因となります。




### ⚠ 注意

●この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では使用できません。感電・発火・落下の原因となります。
●灯具は60m／s仕様です。それ以外の場所では使用できません。感電・発火・落下の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電源で使用しないでください。感電・発火の原因となります。
●周囲温度35℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
不点や発火の原因となります。
●周囲温度0℃以下で使用はお奨めできません。明るさが得られない場合があります。
●蛍光灯は周囲の温度により明るさが変化します。周囲温度0℃～35℃以外で使用した場合、極端に暗くなったり、点灯直後にちらつきの発生の原因となります。

## 施工前のご注意

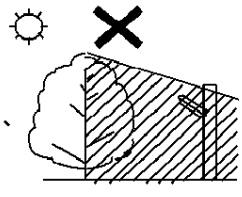
●センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、取扱説明書の【センサの検知範囲】をよくご覧のうえ設定してください。
センサの最適取付高さは4.3mです。
●センサを4.3mより高い位置に取り付けた場合、検知感度が鈍くなることがあります。
また、4.3mより低い位置に取り付けた場合、検知範囲が狭くなることがあります。
●次のような場所には取付けないでください。
このセンサは、周囲の温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。

1、大理石など反射の強い床面のある所
2、風などでよく揺れる植物などがそばにある所
3、エアコン（室外機）の吹き出し口、換気扇の近く
4、検知の範囲内に交通量の多い道路がある場所
5、前面に障害物のある場所（透明なガラスでも遮断されます）
6、振動の激しいポールなど不安定な所

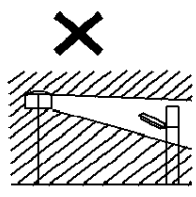
## 施工前に

**●YFG41346（自動点滅器内蔵タイプ）の場合のみです。**

●昼間でも暗い場所（木かげ、ひさしの下等）に取り付けますと、早く点灯、遅く消灯することがありますが異常ではありません。

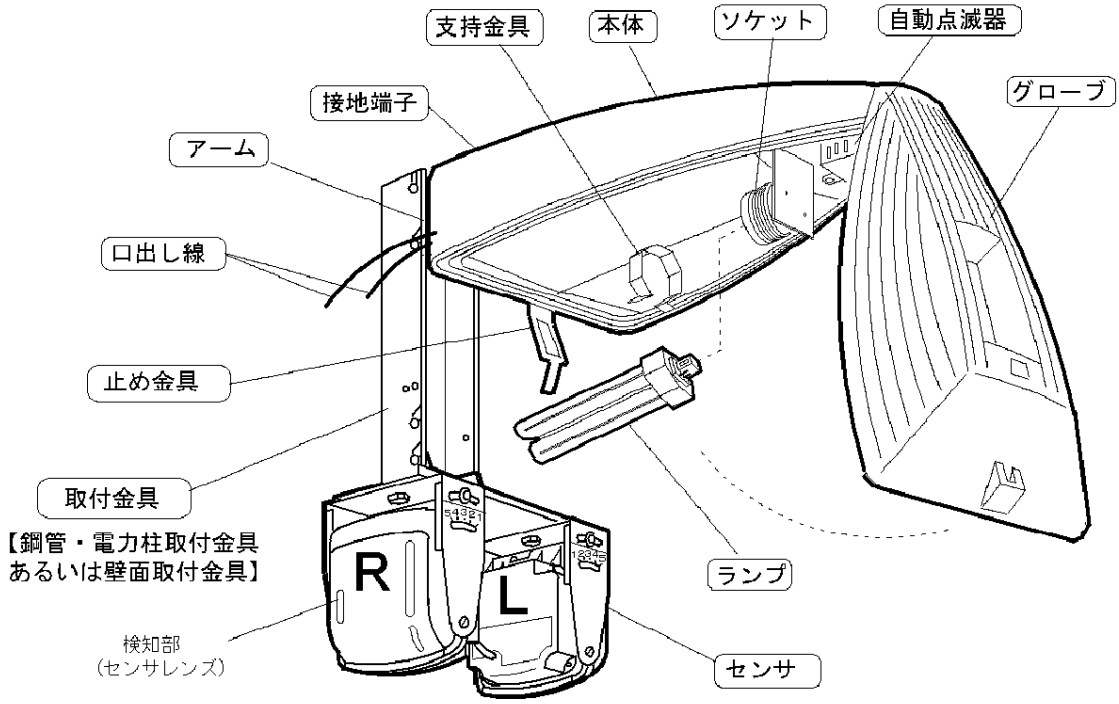


●夜間でも明るい場所、隣地や街路の照明が自動点滅器に直接当る場所への取付けはお避けください。



## 各部のなまえと取付けかた

自動点滅器内蔵は
YFG41346のみです。




**1** 鋼管・電力柱取付金具あるいは壁面取付金具を取付場所に取付ける。

取付け方は【鋼管取付けの場合】・【電力柱取付の場合】・【壁面取付の場合】（3ページ）を参照してください。
不備がありますと落下の原因となります。

**2** 器具と鋼管・電力柱取付金具あるいは壁面取付金具に取付ける。

【鋼管・電力柱取付金具、壁面取付金具への取付方】（4ページ）　不備がありますと落下の原因となります。

**3** 口出し線に電源線・アース線を結線する

・接地端子を使用してD種（第3種）接地工事を行ってください。
接地が不完全な場合、感電の原因となります。
・口出線との接続は、スリーブ等により確実に行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
不備がありますと感電の原因となります。

**4** 照射方向を調整する

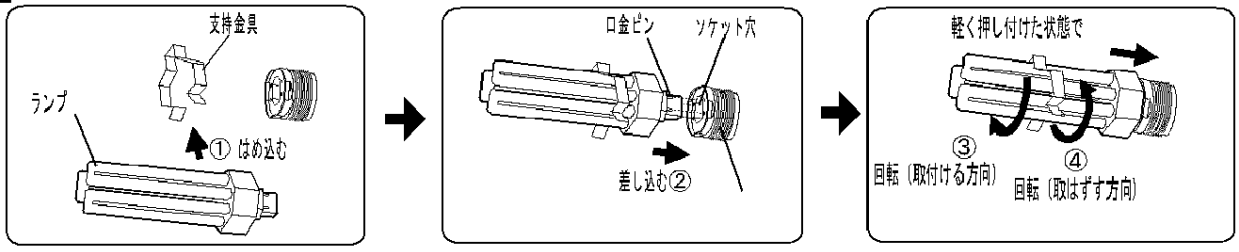
・角度調節ネジ及び角度調節ナットをゆるめ調整し、確実に締め付ける。
【センサ検知範囲】（5～6ページ）を参照してください。

## ランプの交換方法とグローブの外しかた

**1** グローブを開ける

・止め金具をたおしてグローブを開けてください。

**2** ランプ交換を行う




①支持金具にランプをはめ込む。

②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。

③軽く押し付けた状態でランプを少し回転させ取付ける。（回転角度約15°）

④取りはずす場合には、軽く押し付けながら取付と逆方向に回転させてください。

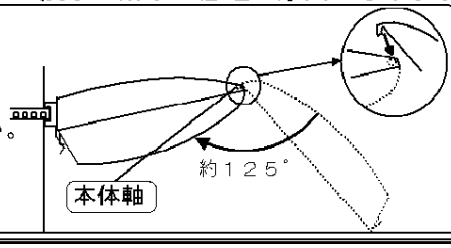
**3** グローブを本体に押し込む

・グローブが止め金具に確実に掛かっていることを確認してください。**不備がありますと浸水・落下・感電の原因となります。**

### グローブがはずれた場合の取付方

・グローブは一定方向のみで取付けられる構造になっています。
・右図の様にグローブを約125°開放した位置で本体に取付けて下さい。
・取付ける際、本体の軸がグローブ取付部に確実に入っている事を確認して下さい。

取付けが不十分な場合グローブ破損の原因となります。



## 器具の取付けかた

### 鋼管取付の場合（YK23097を使用【1本】）

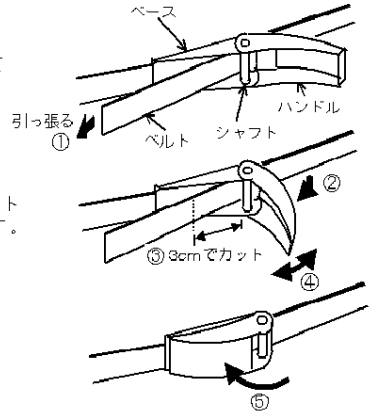
①ベルトの先端をシャフトの間（シャフトは2枚構造）に通してたるまない程度にはります。

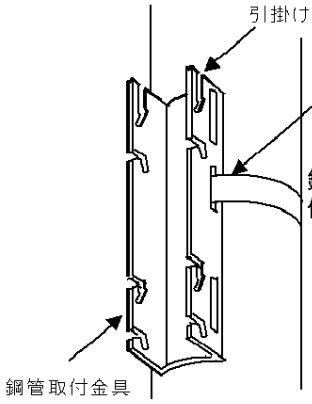
②ハンドルを90°起こして仮止めします。

③ベルトのあまった部分をシャフトから3cmのところで切断します。

④ハンドルを往復作動させ（ラチェット機構）ベルトを緩むことなく十分に締めます。

⑤ハンドルをベースに重なるまで倒してストッパーはめます。

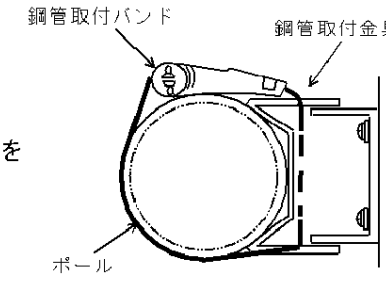



**鋼管取付金具中央の角穴を使用してください。**

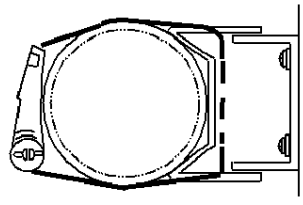
鋼管取付金具は上図のように
引掛け部を上にして取付けしてください。
上下逆さ取付けはできません。

○




鋼管取付バンドは上図の
位置になるように取付けて
ください。

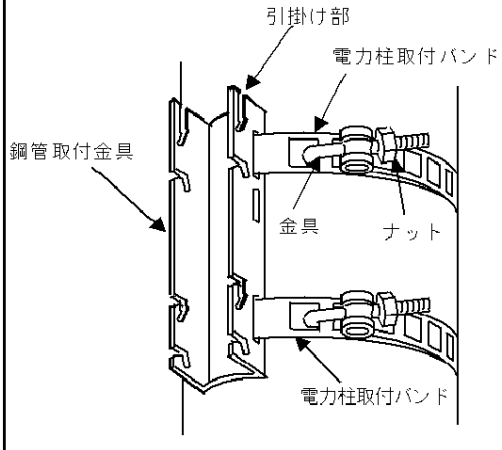
×



鋼管取付バンドは上図の位置で
取付けないでください。
鋼管取付バンドのベースが変形し、
締め付けが出来なくなります。

**φ 60等小径の鋼管取付の場合**

### 電力柱取付の場合（YK22815或いはYK22821を使用【2本】）

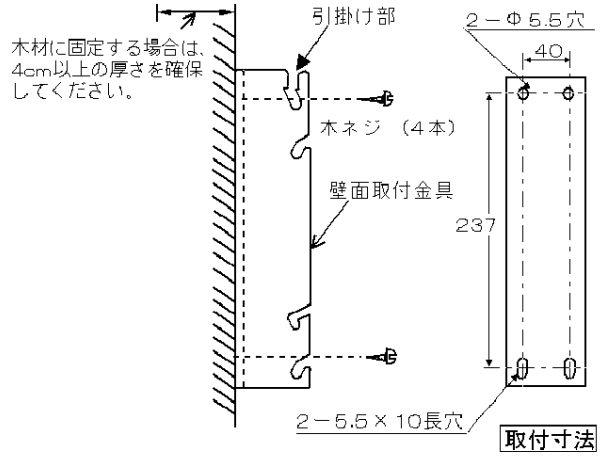



①金具を穴に引掛ける
②ナットを確実に締め付ける

**鋼管取付金具上下2ヶ所の角穴を使用してください。**
**鋼管取付金具は左図の引掛け部を上にして取付けしてください。**
**上下逆さ取付けはできません。**

### 壁面取付の場合　（YKG23051を使用）

壁面取付金具を壁面に、木ねじ（4本）で確実に取付けてください。




取付寸法

**壁面取付金具は左図の引掛け部を上にして取付けしてください。**
**上下逆さ取付けはできません。**

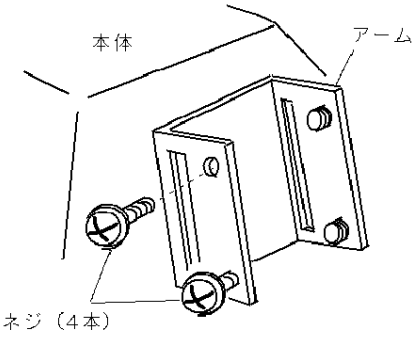
・木板への取付けは一時的なものとして、常設はさけてください。
・強風や積雪のある所に取付けしないでください。落下の原因となります。

## 鋼管・電力柱取付金具、壁面取付金具への取付けかた

鋼管・電力柱取付金具（YKG23050）、壁面取付金具（YKG23051）の取付けかたは共通です。

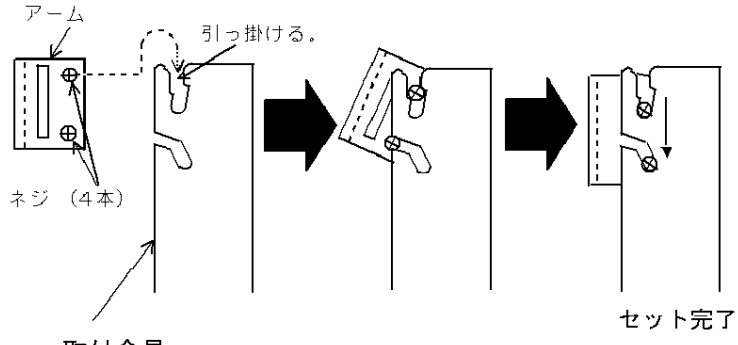
### 灯 具

①取付金具に付いているネジ（４本）を
灯具のアームにセットしてください。




注）取付金具に引っ掛けるときは、
ネジは締め切らず$\frac{1}{3}$位締め込みます。

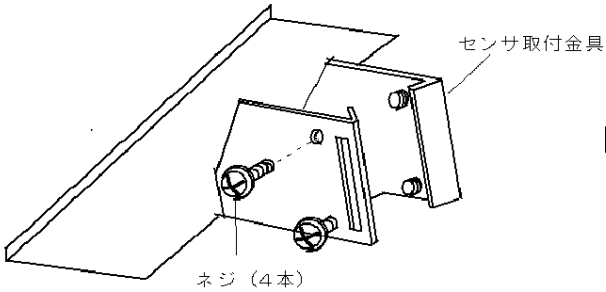
② 取付金具に引っ掛けて取付けてください。




③取付金具にセット後はネジを
確実に締め込んでください。

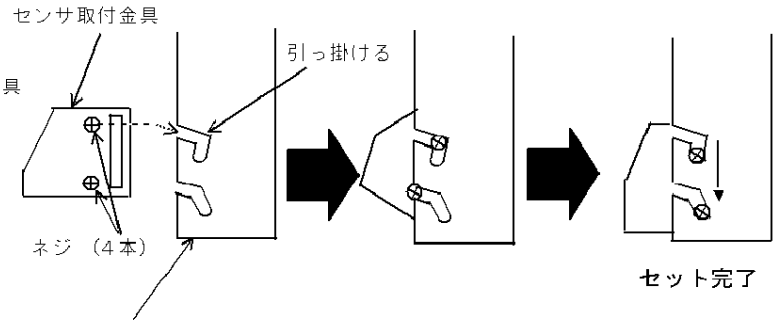
### センサ部

④取付金具に付いているネジ（４本）を
灯具のアームにセットしてください。



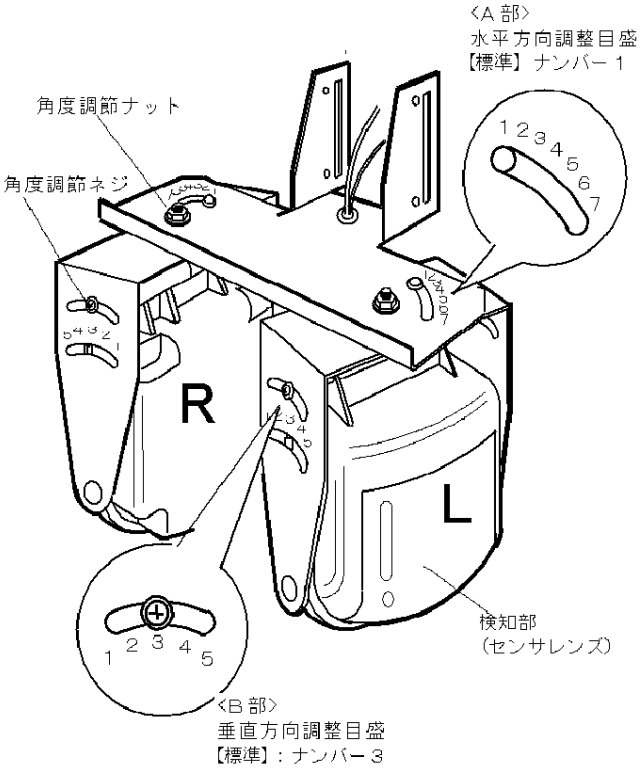

注）取付金具に引っ掛けるときは、
ネジは締め切らず$\frac{1}{3}$位締め込みます。

⑤ 取付金具に引っ掛けて取付けてください。

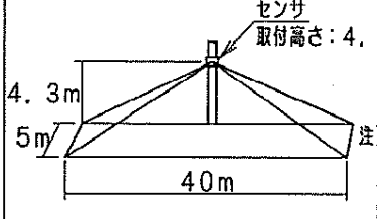



⑥取付金具にセット後はネジを
確実に締め込んでください。

## センサ検知範囲



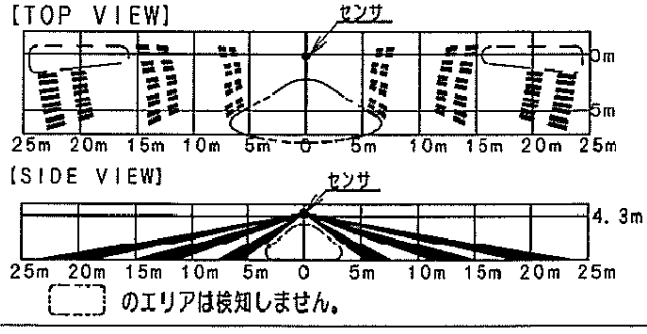

### 標準検知範囲




●センサの角度調整可能です
●フル点灯保持時間：約１０秒

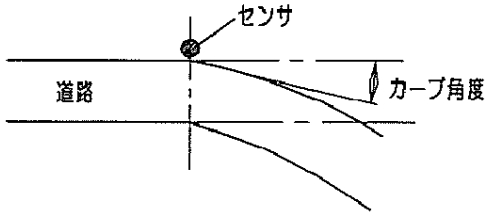
注）フル点灯時間とは
センサが検知しなくなってからフル点灯を保持する時間のことです。またフル点灯保持時間の調整機能はついておりません。

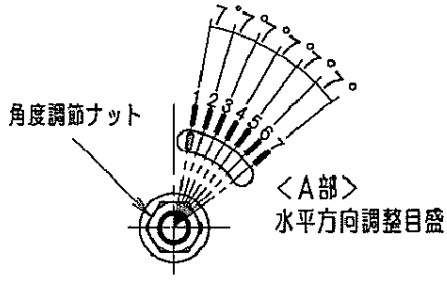
●上図は検知範囲の目安です。
●範囲内の全てのポイントでセンサが検知する訳ではありません。
下図に示した黒い部分を熱源が横切った場合に動作します。
●検知範囲は季節や気象条件によって狭くなることがあります。
詳しくは「使用上のご注意」（7ページ）を参照ください。



## ＜A部＞水平方向調整目盛（1～7）による検知範囲設定のやりかた

※カーブ角度（0°～42°）による＜A部＞水平方向調整目盛ナンバーの目安は
下表の通りです。



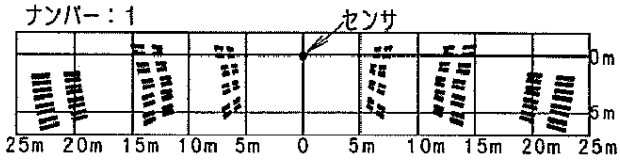

| カーブ角度 | 0°（ストレート） | 7° | 14° | 21° | 28° | 35° | 42°（直角） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜A部＞水平方向調整目盛ナンバー | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |

### ＜A部＞水平方向調整目盛（1～7）による検知範囲の変化（TOP VIEW）

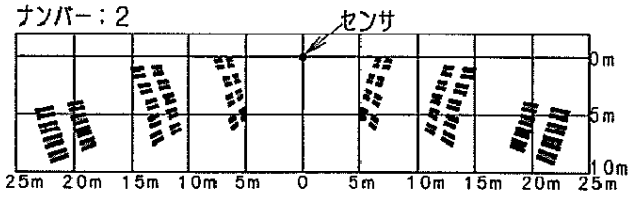
※＜B部＞垂直方向調整目盛は【標準】のナンバー3に設定した場合です。
※図は左右のセンサを同じ位置に設定したときの検知範囲です。
左右の設定目盛りが異なる場合は、組合せで設定してください。

【標準】

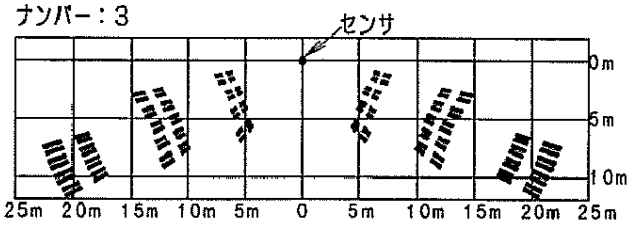
ナンバー：1



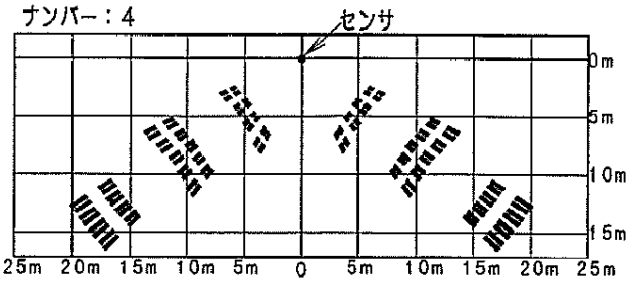

ナンバー：2



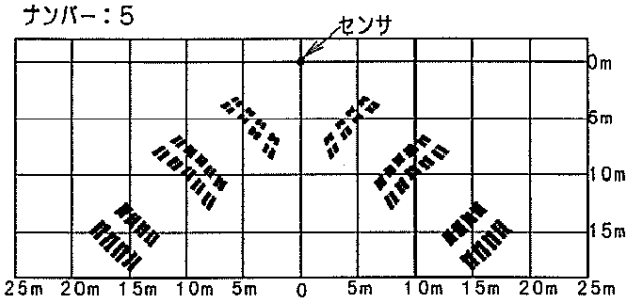

ナンバー：3



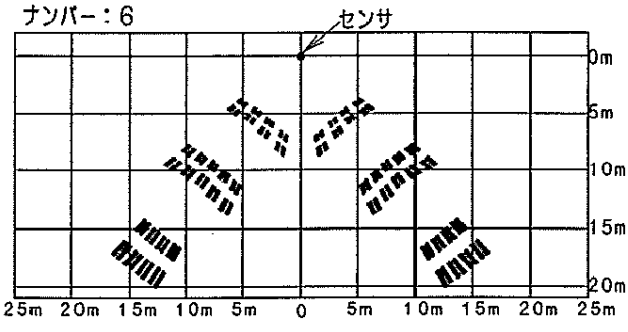

ナンバー：4



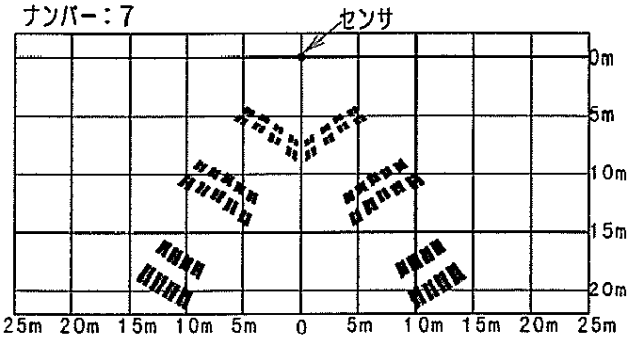

ナンバー：5




ナンバー：6




ナンバー：7



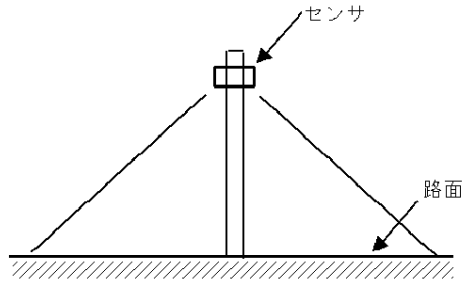
## 〈B部〉垂直方向調整目盛（1～5）による検知範囲設定のやりかた

### 1.フラットな路面の場合

※〈A部〉水平方向調整目盛を【標準】：ナンバー１に設定した場合、〈B部〉垂直方向調整目盛ナンバーの目安は下表の通りです。

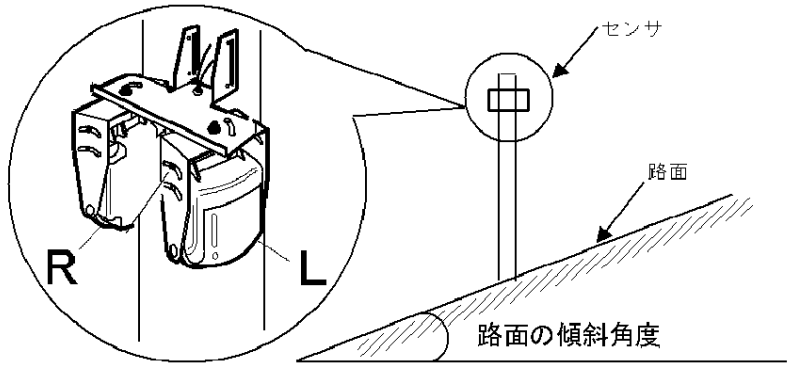
| 器具取付ピッチ / センサ取付高さ | 20m | 25m | 30m | 35m | 40m |
|---|---|---|---|---|---|
| 5.5m | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ④ | ④ |
| 4.3m | ⑤ | ④ | ④ | ③ | ③ |
| 3.5m | ④ | ④ | ③ | ③ | ― |

注）”―”は検知対応の不可を表わします。




### 2.傾斜のある路面（坂道）の場合

※〈A部〉水平方向調整目盛を【標準】：ナンバー１に設定した場合、〈B部〉垂直方向調整目盛ナンバーの目安は下表の通りです。




路面傾斜角度が５°の場合

| 器具取付ピッチ / センサ / センサ取付高さ | 20m | | 25m | | 30m | | 35m | | 40m | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L |
| 5.5m | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ④ | ⑤ | ③ | ⑤ | ③ | ④ | ② |
| 4.3m | ⑤ | ④ | ⑤ | ③ | ⑤ | ③ | ④ | ② | ④ | ② |
| 3.5m | ⑤ | ③ | ④ | ② | ④ | ② | ④ | ② | ― | ― |

路面傾斜角度が１０°の場合

| 器具取付ピッチ / センサ / センサ取付高さ | 20m | | 25m | | 30m | | 35m | | 40m | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L |
| 5.5m | ⑤ | ④ | ⑤ | ③ | ⑤ | ② | ⑤ | ② | ⑤ | ① |
| 4.3m | ⑤ | ③ | ⑤ | ② | ⑤ | ② | ⑤ | ① | ⑤ | ① |
| 3.5m | ⑤ | ② | ⑤ | ① | ⑤ | ① | ⑤ | ① | ― | ― |

注）検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、検知物の熱量、器具取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
注）電源をONにした直後の約60秒間はランプがフル点灯します。
注）フル点灯中、検知範囲に人が入ると点灯保持時間は延長されます。
注）この器具は、電源をONして60秒経過後、人がセンサの検知範囲内に入ると自動的に調光点灯からフル点灯に変わります。

# 安全に関するご注意

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

## ⚠ 警告

●器具を改造しない。感電・発火の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
感電・火災の原因となります。
●構成部品の交換はしない。

## ⚠ 注意

● お手入れの際には、必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。
● 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が１０年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して１０年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

## 使用上のご注意

【センサの動作について】

●下記のような場合、検知動作することがあります。

1.人以外の熱源（車両や犬、猫、鳥などの小動物）が検知エリアを横切る場合
2.急激な温度変化（路面温度の変化や気温の変化）がある場合
3.気温差のある風が検知エリアを横切る場合
4.気象条件（にわか雨、雪、台風、北風、雷、霧など）による温度変化がある場合
5.樹木などのゆれるものが検知エリアにある場合
6.センサのすぐ側を昆虫が飛んだり、センサ部にとまった場合
7.アマチュア無線など強力な電気的ノイズがある場合
8.雷、ヘッドライトなど強力な光が直接センサに当たる場合

●下記のような場合、検知動作しないことや感度が鈍くなったように感じるときがあります。

1.人と周囲の温度差が低い場合
（傘をさしている人、合羽、防寒着を着ている人、気温の高い夏期など）
2.検知エリア内に人がいても動かない場合
3.センサに向かって真っすぐ近づく場合
4.ほこり・風雨・風雪でセンサのレンズ面が汚れた場合
（センサのレンズ面の汚れは、柔らかい乾いた布などで、傷をつけないように拭き取ってください）
5.霧など熱線を透過しにくい気象条件の場合
6.検知エリアを遮られた場合（大型車両の駐停車など）
7.雷やアマチュア無線など強力な電気的ノイズでセンサが破壊した場合

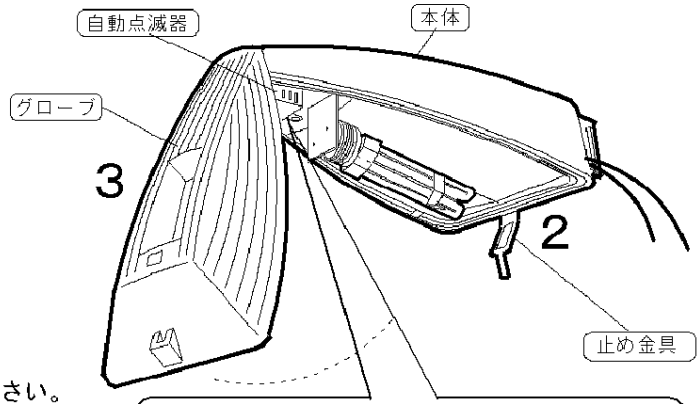
## 自動点滅器の交換方法とグローブの外し方

**1** グローブを開ける
・止め金具をたおしてグローブを開けてください。

**2** 自動点滅器の交換を行う
・自動点滅器はYK00330MUをご使用ください。
・自点カバーを外してから自動点滅器を交換してください。

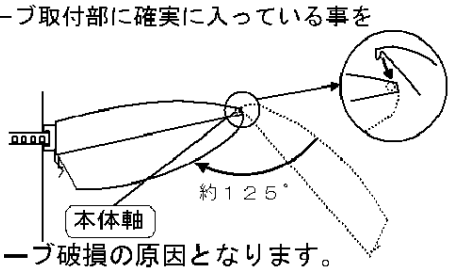
**3** グローブを本体に押し込む
・グローブが止め金具に確実に掛かっていることを確認してください。

**不備がありますと浸水・落下・感電の原因となります。**

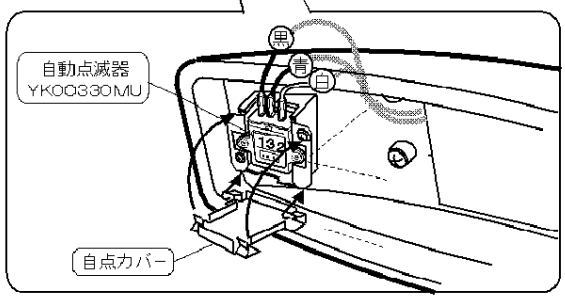



### グローブがはずれた場合の取付方

・グローブは一定方向のみで取付けられる構造になっています。
・右図の様にグローブを約125°開放した位置で本体に取付けて下さい。
・取付ける際、本体の軸がグローブ取付部に確実に入っている事を確認して下さい。




取付けが不十分な場合グローブ破損の原因となります。



## 故障かなと思ったときは

| （現象） | （考えられる原因） | （処置） |
|---|---|---|
| 検知範囲内に人がいるのにフル点灯しない | 検知範囲の設定が適切でない<br>センサ周りに障害物がある | センサ部取付を調整する |
| | 器具に向かって真っすぐ接近している | 本センサは左記の場合検出しにくい場合があります |
| | 検知部（センサレンズ）が汚れていたり、蒸気や雨などの水滴がついている | 検知部（センサレンズ）を柔らかい布で傷がつかないようにふきとる |
| | 寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり、手袋をしている | 本センサは人の動きによる温度変化分を検出するため左記の場合検出しにくい場合があります |
| | 雨の日に傘で顔や手が隠れている | |
| | 検知範囲内で人が静止している | 本センサは静止している人は性能上検出できません |
| | 器具直下付近で立ち止まっている | 本センサは器具真下付近で静止している人は性能上検出できません<br>（4ページのセンサ検知範囲【SIDE VIEW】参照） |
| フル点灯したまま減光しない | 検知範囲に人がいる | 検知範囲外に移動する |
| 検知範囲内に人がいないのにフル点灯する | 検知範囲内に誤動作源がある<br>例）他の照明器具、エアコン（室外機）の吹き出し口、風などでよく揺れるもの（看板、旗、植木等）、車の熱やヘッドライト、無線ノイズ（無線等）、犬や猫などが動いている | 誤動作源を取り除く<br>（センサ部取付を調整する） |
| | 検知範囲の設定が適切でない（不要な箇所まで検知している） | センサ部取付を調整する |

## 保証について

1：保証について　本照明器具は犯罪防止を保証するものではありません。
この商品の保証期間は１年間です。安定器は３年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2：保証書について　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

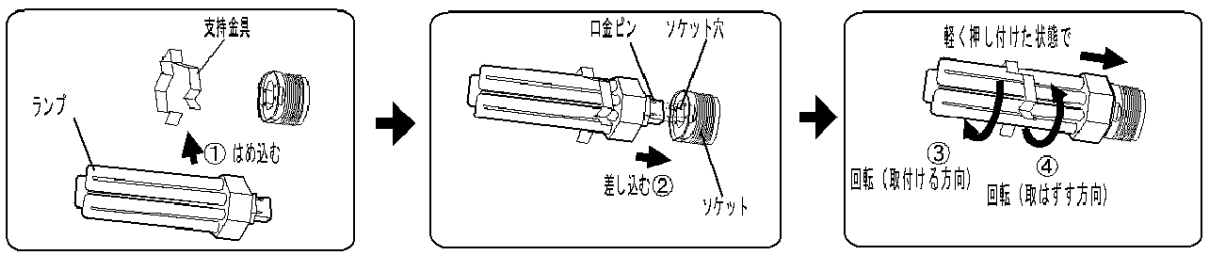
3：補修性能部品（電気部品）について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れ・ランプ交換　⚠ 注意（必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。）

●器具の清掃について ・・・・・・・・・・・・・・ 汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
シンナーやベンジンでふかないでください。 変色・変質の原因となります。

●ランプ交換について ・・・・・・・・・・・・・・ 本体表示にしたがって、指定されたランプをご使用ください。

●器具の点検について ・・・・・・・・・・・・・・ 器具の性能を維持するために、ランプ点灯の確認（電源の投入）、センサの点検（裏面の【使用上のご注意】を参照）を定期的に行ってください。
センサ部が汚れてくると、感度が鈍くなります。やわらかい布で 清掃してください。




①支持金具にランプをはめ込む。

②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。

③軽く押し付けた状態でランプを少し回転させ取付ける。（回転角度約 15°）

④取りはずす場合には、軽く押し付けながら取付と逆方向に回転させてください。

**回転が不十分な場合、落下の原因となります。**

注）ガラス管を強く握らないでください。

**ガラス破損の原因となります。**

**すべりやすい手袋はご使用にならないでください。**

**ゴム手袋のご使用をおすすめします。**

| 品　番 | 適合ランプ |
|---|---|
| YFG41345PX9<br>YFG41346PX1 | DULUX T／E FHT42EX－N（昼白色） |

## 定　格

| 品　番 | 電　圧 | 入力電流（全点灯時） | 消費電力（全点灯時） | 周　波　数 | ランプ電力 |
|---|---|---|---|---|---|
| YFG41345PX9 | AC100－242V | 0.47 － 0.20A | 45.7 － 45.5W | 50Hz／60Hz 専　用 | 42W |
| YFG41346PX1 | AC100V | 0.47A | 45.7W | | |


**パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット**　〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）


MN0509-020112